

第5回新市建設計画策定小委員会（議事概要）

日 時 平成14年8月20日（火）PM1：30～PM2：50

場 所 弥栄町役場大会議室

出席者数 20人

傍聴者数 13人

主な議題

（1）協議第1号 新市建設計画について

- ・「2 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町の現況」(修正について)
- ・「新市の将来像」

（2）次回の議題について

（3）次回の小委員会の日程

議事経緯

（1）協議第1号 新市建設計画について・・・・・・ **継続協議**

- ・「2 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町の現況」(修正について)

主な意見

委員 6町の位置・地勢の中で、しめに当たる部分について、明るくするため自分なりに文章を考えてきたので参考にしてほしい。「気候は四季の変化に富み、春は比較的晴天の日が多く果樹の花園となる。夏は暑い日が続く、海岸地域は水泳客、山間部はキャンプの客で賑わう。秋は“うらにし”と呼ばれるぐずついた天候が続くが、松茸、果物、農作物等の収穫で潤う。冬の日本海は荒れ模様となるが、カニ漁等々の海の幸で、また山間部は積雪1メートルという日もあるがスキー客で活気づく。」

委員 新市建設計画の構成の中で「(9)既存計画にみるまちづくりの考え方」では既存計画とは6町の基本計画と読めるが、これを整理するだけでは、広域市町村圏計画や京都府の長期計画の位置付けとの役割分担が明確にできないのではないかと。また、各町の総合計画における自主性も大事。

事務局 建設計画は、各町の総合計画を土台とするという意味合いと考えていただきたい。構成案は最終的に計画の目次となるもので、皆さんの意見を参考に修正させていただく。

- ・「新市の将来像」

主な意見

委員 基本理念は生活・健康福祉・活力の3本柱だが、6町が一緒になるのだから、その根底に精神的なものももう1本ある。例えば「共に支えあうバリアフリーのま

ちを推進します」という4本目の柱がいるのではないか。また、7つの基本方針の中に「人権」という言葉が出てこない。人権意識の尊重を8番目に位置づけると、この中には高齢者や障害者の支援、ボランティアやNPO（住民活動）への支援といったものが入ってくると思う。基本理念の図の中では、心・海・山・創とあるが、思い、考え、働くことで人は汗をかく。従って図のゾーンは取って、中心に人を使ったらよいと考える。

町長 6町長が相談し、3本の柱が良いのではとして提案させていただいた。4本とはせず、3本柱として「共に支えあう安心して暮らせる・・・」というように2つ目の冒頭に挿入してもよいかと考える。また人権については「自律的な市民参加のまち」の項目として増やしたらよいのではないか。

委員 6町が合併するということは、「人」が心を合わせるということで、やはり中心におくべき。そうすると良い絵になる。

委員 新市の中心がどこに来るのかで絵は変わってくる。もっと具体的に決まってから作らないとイメージがわからない。

委員 合併の必要性には出ているのに、理念に「行財政の確立」のことが出ていない。入れておく必要があるのではないか。

委員 アンケート調査は住民の意見ということで、この中のサービスの低下、格差、不便という3大不安を解消していかねばならない。そのために合併による目玉商品を作らなければならない。例えば住民のたまり場として村役場を復活させるなど、整理統合を掲げる合併ではなく、末端を大切にしたい補う合併を考えたらどうか。また、合併により便利なまちにしていかなければならない。例えば、弥栄病院と久美浜病院が、毎週交替で土日に営業するなど。従って、方針の中の「快適な暮らしをささえる・・・」を「快適で便利なくらしをささえる・・・」に変えてほしい。

委員 基本理念に「安心して暮らせる・・・」とあるが、このことから福祉ゾーンというものを設けたらどうか。

町長 中心の図は、産業を主に作った。文化・福祉・健康となると全体を囲っていかねばならず、病院等をイメージされているなら、拠点ということで小さな点がいっぱいになってしまうということで大きくりにまとめさせていただいた。

委員 基本理念に「人を育て・・・」とあるが、自律的な市民参加という意味で住民が主役であり人は自ら育つもの。従って「人が育ち・・・」となると思う。

委員 方針の「快適な暮らしをささえる生活基盤の整ったまち」の中にということで、「地域情報化に向けた基盤・体制づくり」とあるが、町長方の間では、具体的にどこまで話をされているのか。

町長 ビジョンということで7つの方針を決めた。次の段階で具体的な話に入っていくという手続きになると考える。

委員 文中に「自律」と「自立」という2つが出てくるが、どちらかに統一できないか。

町長 「自律」に統一したい。

委員 基本理念の「ひとを育て」は教育であり、「にぎわい」は産業振興と考えるが、分けられないのか。また、ゾーニングについては、これでは夢がない。もっと色々なものを入れて描けないか。

町 長 教育については、7つの基本方針の中に入っている。絵については見やすいように付けてあり、いわゆる一つのデザインである。実際の計画には、それを表現した図面を付けるつもり。

委 員 よくできているが、全体的に見ると少子・高齢化に向かったの新市のまちづくりになっていると考える。方針に「地域の産業を活性化し、働く場を創出するまち」とあるが、内容はU・J・Iターンの定住化対策といったおきまりの文言となっている。この中に「生産人口」に着目し、これを増やすという視点が読める言葉を入れていただくと、若者を大事にしているまちということになる。先程行政改革の話もあったが、こうして人口が増えれば、行政サービスの増加に対し職員を増やしていくんだというふうに、夢を大きく持った理念があってもいいと思う。

(2) 次回の議題について

新市建設計画について

その他

(3) 次回の小委員会の日程

第6回新市建設計画策定小委員会

日 程 平成14年9月18日(水)午後1時30分

場 所 久美浜町福祉センター 2階会議室

文責 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会事務局

(速報のため、事後修正の可能性あり)